

あいのわ

■発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会
理事長 伊藤 良久

■連絡先
〒121-0012 東京都足立区青井4丁目30番5号
TEL:03-3849-1188 FAX:03-3849-7001
URL <http://www.ainowa.or.jp/>

■印刷・作成
足立区大谷田就労支援センター



理事長 挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、幸多き新年を迎えられたことと存じお慶び申し上げます。また、昨年中も当法人の事業運営に格別のご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

さて、当法人では、現在、令和8年度を初年度とする新たな経営計画の策定に着手しています。新たな計画は、これまでの3か年計画から視点を広げ、より中長期的な見通しのもと事業を進めていくため、5か年計画として策定していく方針としております。

この計画の策定過程の中で、急速な社会の高齢化の進展に伴う、当法人利用者と保護者の方の高齢化、医療的ケアの高度化と需要の増大、そしてこれらの支援を担う人材の確保と定着が重要な課題として浮かび上がっています。現在、これらの課題への具体的な対応策について検討を進めており、本年度中に新たな計画を策定し、皆様にご提示することを予定しております。

今後、当法人は新たな計画を踏まえ、法人の持つ力を結集し、ご利用者の個性に合わせて、多様性に富んだ質の高いサービスを引き続き提供し、障がいを持つ方々に必要とされる社会福祉法人を目指して参ります。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とします。

(伊藤 良久)



後援会長 挨拶

法人設立30周年という節目を越え、これまでの歩みを振り返りますと、地域に根差した地道な福祉の積み重ねが、多くの信頼と人と人とのつながりを育んできたことを、改めて実感いたします。後援会として、長きにわたり微力ながらその歩みに寄り添い、支援を続けてこられましたことを、心よりうれしく思っております。

新しい年を迎え、社会情勢や地域を取り巻く環境が大きく変化する中であっても、本法人が大切にされてこられた理念は、今後も変わることなく受け継がれていくものと存じます。これまで築いてこられた実績を礎に、次の時代に向けて一步一步歩を進めていかれることを心より願っております。後援会といたしましても、これからも地域と法人をつなぐ立場から、皆様とともに歩んでまいりたいと存じます。

(秋山記)





綾瀬あかしあ園



綾瀬あかしあ園では、利用者の方お一人を対象に「二十歳を祝う会」を開催しました。式のはじめは緊張された様子でしたが、いつもとは違うスーツ姿で凛と立つ姿は、入所当初からの成長と積み重ねてきた時間を感じさせる、頼もしいものでした。式典にも堂々と参加され、ご自身の言葉でお母さまへの感謝を伝える場面では、サプライズのお手紙に会場全体が心を打たれ、参加されたお母さまをはじめ、利用者の皆さまや職員の目にも涙が浮かぶ、心温まるひとときとなりました。式典終了後には記念写真の撮影を行い、来賓としてご出席いただいた特別支援学校の先生からもお祝いの言葉を頂戴しました。学校時代とはまた違う、さらに成長された姿をお見せすることができ、意義深い会となりました。

これからも仕事や趣味に全力で取り組み、充実した毎日を過ごされることを願っています。（森記）



竹の塚あかしあの杜



令和8年1月13日、「竹の塚あかしあの杜のぞみ二十歳を祝う会」を執り行いました。本年度は、利用者の方お一人が二十歳を迎えられました。

当日は、華やかな着物に身を包み、やや緊張した面持ちで入場されましたが、大きな拍手に包まれ、温かく迎えられていました。式の中では、卒業校である花畑学園の先生方のご協力のもと作成した「お祝いビデオ」を上映し、スクリーンに懐かしい先生方が映し出され、ご自身の名前が呼ばれるたびに、嬉しそうな表情を浮かべていらっしゃいました。

この日、最も自然な笑顔が見られたのは、集合写真を撮影した場面でした。日頃から親しく過ごしている仲間と囲まれ、緊張も次第に和らいだようでした。参加者の温かなまなざしの中、二十歳という節目を迎え、あらためて決意を胸に刻まれたことと思います。

今後も、ご本人が思い描く「のぞみ」に向かって、さまざまなことに挑戦される姿を、職員一同応援してまいります。（片桐記）



神明障がい福祉施設



本年度、神明福祉作業所では利用者の方お一人が新たに20歳を迎えられ、令和8年1月9日に「二十歳を祝う会」を開催いたしました。

当日は、入所式以来となる正装姿でご参加され、少し緊張された様子も見られましたが、会場は終始和やかな雰囲気になっていました。卒業校の先生にもご出席いただき、久しぶりの再会に笑顔があふれる場面もありました。

入所から現在までを振り返るスライドショーでは、日々の作業や活動にいきいきと取り組まれている姿が映し出され、職員一同、成長を感じるひとときとなりました。入所後約2年間、前向きに活動に取り組み、笑顔で過ごされている姿から、私たちも多くの元気をいただいています。

20歳という大きな節目を迎えられたことを心よりお祝いするとともに、今後の歩みが実り多いものとなるよう、引き続き寄り添いながら支援してまいります。
(會田記)



足立あかしあ園



12月26日（金）、地域交流会を開催しました。開催にあたり、近隣の小学校や自治会、地域の店舗、西加平冬フェスタなどでポスターやチラシの配布・設置にご協力いただき、準備を進めてまいりました。当日は、「綾瀬ひまわり園」「クレープのおうち」「和 Sweets 粋」「ギャラクシティ」「綾瀬あかしあ園」の皆様にご協力をいただき、1階会場は多くの来場者で大変賑わいました。来場された方々からは、「楽しかった」「美味しかった」「また開催してほしい」といった声が多く聞かれ、笑顔あふれる交流の場となりました。

午後には、2階会場にて「asu hana」によるステージが行われ、「青に混ざる」をテーマとした歌唱が披露され、会場は心温まる雰囲気に包まれました。

当日は多くの地域の皆様にご来場いただき、足立あかしあ園を知っていただく良い機会となりました。

(杉山記)



あいのわ支援センター



あいのわ支援センターの各ハウスでは、年末年始を健康で穏やかに過ごすことができました。今年是在所された方とご自宅等へ帰省された方がほぼ同数となり、在所される利用者の方々の皆さまのご希望を伺いながら、12月30日から元旦にかけて、ささやかなイベントや外出を行いました。

12月30日には、谷中・青井各ハウスの数名で柳野稲荷神社と六町神社へ年末詣に出かけ、一年の感謝と新年への願いを込めて参拝しました。大晦日には、谷中・綾瀬ハウスの皆さまが集まり、昼食に手作りの年越しそばを味わいながら、一年を振り返るひとときを過ごしました。

元旦の早朝には、綾瀬ハウスの皆さまで荒川土手に上がり、千住新橋まで出かけました。曇りの予報ではありましたが、雲の切れ間から力強い初日の出を拝むことができ、その後、綾瀬稲荷神社にて初詣を行いました。

旧年中に賜りました多方面からのご支援に感謝申し上げますとともに、本年も、あいのわ支援センターに関わるすべての皆さまにとって、健康で幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。（阿部記）

ADACHI 障がい者アート展



前年度に引き続き、本年度も「あいのわ福祉会」として「ふれあい発表会」に参加させていただきました。年に一度の貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

本年度は、職員によるギターとベースの演奏を軸に、利用者の皆さんそれぞれが得意な歌や楽器、ダンス、そして笑顔を披露しました。途中、音響トラブルもありましたが、出演者全員が息を合わせ、いきいきとした表情でステージを楽しんでいる姿がとても印象的でした。

「We Will Rock You」から「WAになって踊ろう」、「お一足立区」へとつながるスペシャルメドレーでは、会場からもたくさんの温かい応援をいただきました。

来年は、さらに多くのお客様に見守られる中で、よりパワーアップしたステージをお届けできればと思います。まだ参加が決定しているわけではありませんが、その日を楽しみに、これからも活動を続けてまいります。（森記）



花畑あかしあ園



花畑あかしあ園では、足立区社会福祉協議会、NPO 音まち計画、やわらかアートアカデミーのスズキミさんと共に「拝啓 花畑のみなさま！ジェルフラワー PROJECT」を実施しました。本プロジェクトは、表現活動を通じて地域住民の皆様との出会いを創出し、名前を呼び合える温かな関係を築くこと、そしてその交流が継続していくことを目的としています。ワークショップの開催に続き、作品のお披露目会も盛大に行いました。当日は多くの地域の皆様にご参加いただき、会場には笑顔があふれ、交流の輪が広がる素晴らしいひとときとなりました。今後も地域と連携した多彩な活動を通じて、開かれた施設として、皆様と共に歩んでいけるよう努めてまいります。(内田記)

花畑学園交流会



12月18日、東京都立花畑学園高等部の生徒の皆さんと、授業を通じた交流の機会をいただきました。生徒の皆さんからは、学校給食や一日の流れ、現在学習している内容などについて紹介があり、当法人の利用者の皆さんからは、「生活介護とはどのような施設か」「日々の活動内容」「嬉しかったことや頑張っていること」などを発表して頂きました。質問コーナーでは、「給食はおいしいですか」「どのようなルールがありますか」など多くの質問が寄せられ、利用者の皆さんは当初緊張した様子も見られましたが、やり取りを重ねるうちに次第に笑顔が増えていきました。今回の交流を通して、互いの立場や日常を知り、理解を深めることのできる貴重な時間となりました。(内田記)

イベントスケジュール

舎人公園 千本桜まつり
令和8年3月28日(土)・29日(日) 午前10時～午後4時(予定)

足立区の5大イベントの一つである「舎人公園千本桜まつり」が開催されます。舎人公園には、「千本桜」と呼ばれるほど多くの桜が植えられており、ソメイヨシノをはじめ、カンヒザクラやギョイコウなど、さまざまな品種の桜を長い期間楽しむことができます。当日は、物産展や模擬店などのグルメ・買い物コーナーのほか、子どもから大人まで楽しめる多彩なイベントが予定されています。また、法人としても3月28日(土)に自主生産品の販売で出店予定です。お花見とあわせて、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

ワーク・ライフ・バランス情報誌



足立区ホームページ内「ワーク・ライフ・バランス情報誌 Vol.1」に当法人のインタビューページが掲載されました。本誌は、足立区内でワーク・ライフ・バランス推進に積極的に取り組む企業を取り上げ、誰もが働きやすい環境づくりを応援することを目的としたものです。

当法人のワーク・ライフ・バランス推進の取り組みや職員の産休・育児休業取得について、掲載の第一弾として特集されました。これを契機に、より一層のワーク・ライフ・バランスの充実を図り、質の高いサービス実践に繋げてまいります。（西井記）

「ワーク・ライフ・バランス情報誌 Vol.1」表紙ページ
<https://www.city.adachi.tokyo.jp/sankaku/wlbjouhoushivol1.html>
 あいのわ福祉会インタビューページ
<https://www.city.adachi.tokyo.jp/sankaku/ainowa.html>

えるぼし認定

令和8年1月16日付で、当法人は厚生労働省所管「えるぼし」認定において、最高位である3段階の認定を受けました。

「えるぼし」認定とは、女性活躍推進法に基づき、採用、継続就業、労働時間等の働き方、管理職比率、多様なキャリアコースの5つの評価項目について一定の基準を満たし、女性の活躍推進に関する取り組みが優良と認められた企業を認定する制度です。3段階での認定はこれら5項目すべてを満たすことが求められます。

当法人では、これまでワーク・ライフ・バランスの推進とともに、多様性を尊重し、性別や年齢等にとらわれず、職員一人ひとりが活躍できる働きやすい職場づくりに取り組んできました。今回の認定は、こうした方針のもと、職員一人ひとりが日々の業務に真摯に向き合い、互いに支え合ってきた積み重ねの成果でもあります。

認定企業全体の中でも医療・福祉分野での認定は決して多くない中、最高位である3段階の認定を受けたことは、女性にとって働きやすい職場環境が整備されていること、そしてやりがいをもって働く女性職員が多い法人であることを改めて認識する機会となりました。今後も職員がいきいきと働き、誰もが活躍できるダイバーシティ経営とワーク・ライフ・バランスの推進ビジョンの実現に向け、継続して取り組んでまいります。（佐野記）



投稿欄（俳句・川柳など募集中です）

限りある生命卒寿の年迎ふ 秋山 啓司

◆この一句

「真中でおかめが笑ふ大熊手」 高橋 秀昭

熊手の縁起物としての意味は福や金運を「かき集める」ということで、紙製の小判、鯛、おかめの面など色鮮やかな飾り物が熊手一杯についている。

西の市や西新井大師等の縁日でよく売られている。

（秋山）

後援会だより 令和7年10月～令和8年1月 敬称略・順不同

【一般会員・団体会員】（1口3千円～5千円）

舎人あかしあ園 保護者、西村文雄

神明福祉作業所 湯井伸一、竹の塚きずな 家族会

【寄付者】

西澤歯科医院、匿名、富田潤子

理事会報告

令和7年度 第4回理事会

日時 令和7年11月21日

議案

- ・令和7年度上半期事業報告・決算報告に関する件
- ・諸規程改正に関する件

編集後記

本年も一人ひとりの思いに寄り添い、信頼される法人であり続けられるよう努めてまいります。引き続き、皆様の温かなご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。（桑原記）